



## へその緒は

あなたとわたしの確かなきずな



奇跡的な確率で出会った精子と卵子が受精して、お母さんのお腹の中での赤ちゃんの暮らしが始まります。

お母さんのお腹の中で、赤ちゃんの命をつないでいるのは、羊水と胎盤からへその緒を通じて送られる栄養や酸素なのです。

赤ちゃんが胎盤をつないでいたへその緒は、生まれてきて赤ちゃんが自分で呼吸をして、授乳が出来る事を確認したら、その途端、不要になってしまいます。

少し弾力があって、透明でも白色でもないへその緒は、少しだけ赤ちゃんのおへそに残りますが、その殆んどは、胎盤と一緒にさよならします。

そのあとは、すっかりお母さんと切り

離され、あたらしい暮らしが始まるのですが、十月十日（とつきとおか）もの長期間、ずっと頑張ってくれたへその緒に「ごくろうさま」という気持ちになりますね。

もう、へその緒でつながってはいないけれど、だっこをしたり、やさしくさすったり、語りかけたりすることで、しっかりしたつながりが新しく作られていくのです。

へその緒でつながることはママにしか出来なかったけれど、へその緒が切り離されてからは、親としてのつながりを作っていくパパの出番です。どうぞ頑張ってくださいね。